

含金属染料中の金属成分には、漂白剤で使用される過炭酸ナトリウムの分解を促進させる働きがあり、ワイシャツのストライプ柄などを損傷させる事故が発生します。

今回は、その具体的な事例を紹介します。

素材
特性
に注意

クリーニング
処理方法
に注意

監修／クリーニング総合研究所

衣類の状態

白色地に黒色系のストライプが入ったワイシャツ。前後身頃やカフスの表側など、黒色系のストライプの一部が消失している。また、消失部以外のストライプにも脆化が生じており、少し摩擦すると細かな粉状になって脱落するような状態になっている。

原因

ストライプの染料中に含まれている銅などの金属が触媒となり、

事故の防止対策

ランドリーで使用した酸素系漂白剤（過炭酸ナトリウム）の分解を促進したため綿繊維が脆化し、着用やランドリーでの摩擦などで消失したもの。綿繊維の脆化は、ランドリーの繰り返しで徐々に進行するものと推定される。



黒色系と白のストライプ柄ワイシャツ

こと。

また、ワンショット洗剤には過炭酸ナトリウムが配合されていることに配慮する必要がある。

※クリーニング業に関する標準営業約款のクリーニング処理基準では、製品の種類及び素材別のクリーニング処理方法を示しており、その中でワイシャツの色物には漂白剤を使用しないことになっている。

過炭酸ナトリウム

過炭酸ナトリウムは、ランドリー用漂白剤として広く使用されている粉末状酸化漂白剤で、40℃前後から漂白効果を発揮しはじめ、効果が穏やかに進行する。

ただし、含金属染料などを使用した染色物では、染料中の金属が触媒となって漂白剤が急激に分解し、繊維を損傷することがある。

漂白可否の表示について

染色物に使用されている染料の種類は判別できないため、原則として染色物への漂白剤の使用は避けること。

JIS L 0217（旧表示）による取扱い絵表示には塩素系漂白の可否を表示があるが、酸素系漂白の可否を表示はしない。このため、酸素系漂白剤やワンショット洗剤を色物に使用しないことがクリーニングでできる唯一の防止対策となる。

現行のJIS L 0001の取扱表示では、家庭洗濯での酸素系漂白の可否が判断できるようになっているが、ランドリー処理は表示の対象外であることに配慮すること。



カフス表側の黒色系の糸が消失している

- 品名…ワイシャツ
- 素材…綿100%
- 取扱い絵表示…
- 処理方法…ワンショット洗剤を使用したランドリー、綿プレス仕上げ

●「衣料管理情報」は全ク連ホームページからPDFをダウンロードいただけます。
全ク連 HP <https://www.zenkuren.or.jp> 「お知らせ」→「衣料管理情報」